

事務事業評価シート 平成 29 年度事後評価・決算

平成 31 年 2 月 21 日時点

事務事業名		コード	15920	親と子どもの絆プロジェクト事業	予算科目	会計	款	項	目	担当課	子育て支援課	担当班	保育班
基本施策		7		子育て支援の充実	根拠法令	旭市親と子どもの絆プロジェクト事業交付要領	3	3	1	事業種別			
施策の展開		15		結婚・子育て環境の整備	戦略事業	75 親と子どもの絆プロジェクト事業				事業種別			
施策の展開					戦略事業					事業種別			

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 28 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで		児童の豊かな心を育むことを目的として、人間形成が培われる幼児期の児童に対し、民間保育所(5ヶ所)、民間幼稚園(1ヶ所)、認定こども園(3ヶ所)、公設民営保育所(1か所)、その他団体(旭市立保育所後援会、旭市立保育所連絡協議会 13団体)が企画する、親子や世代間、地域の交流などの事業に要する経費を助成する。補助額上限10万円。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
核家族化や少子化が進む中、親子や世代間、地域間の交流の場を提供することで、児童の豊かな心を育む。		核家族化に児童が、世代間や地域間でふれあう場が少なくなり、絆が薄くなっている。	各団体の意見として、日頃、児童との交流の場の少ないお年寄りや、地域の方々と交流ができ、また親子の絆も深めた。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(29年度の決算)		単位:千円
1.負担金及び補助金	2,300:親と子どもの絆プロジェクト事業補助金(23団体)	
2.特定財源の内訳(29年度の決算)	単位:千円	
1.国庫支出金	0	
2.都道府県支出金	0	
3.地方債	0	
4.その他	0	

事業費	費目内訳	単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
事業費	1.負担金及び補助金	千円	—	—	2,323	2,300	2,300
		千円					
		千円					
		千円					
	事業費計(A)	千円	0	0	2,323	2,300	2,300
財源	1.国庫支出金	千円					
	2.都道府県支出金	千円					
	3.地方債	千円					
	4.その他	千円					
	5.一般財源	千円	0	0	2,323	2,300	2,300

前年度増減理由	
---------	--

従事職員数	常時	1人	最大	2人	×	30日	=	延べ	60人
-------	----	----	----	----	---	-----	---	----	-----

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	29年度実績(29年度に行った主な活動) 民間保育所、認定こども園、民間幼稚園、各保育所後援会が実施する、親と子ども等による交流事業に要する経費を助成した。		ア 実施団体数	箇所	—	—	23	23	23
			イ 関係園児童数	人	—	—	2,058	2,227	2,100

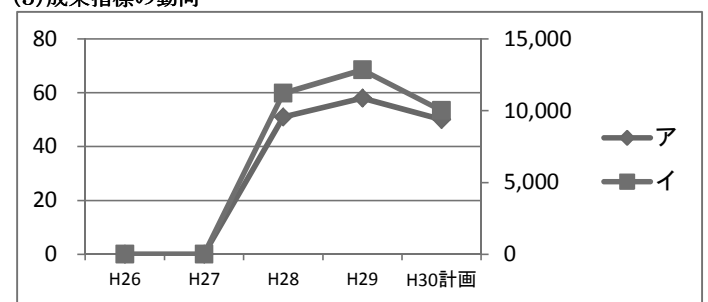
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	対象意図 園児、保護者、地域住民 様々な交流により児童の豊かな心を育む		ア 親と子どもの絆プロジェクト事業を活用して行われた事業数	件	—	—	51	58	50
	対象意図 園児、保護者、地域住民 保育活動に対する理解を深める		イ 事業参加延人数	人	—	—	11,210	12,833	10,000

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい			
	普通		⑤	
	小さい			

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	①	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	②			
	③			
	④⑤	(4)		
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増＝成果向上	数値増＝成果向上	比較
	【コメント】 (低下の場合、その理由)	成果指標ア	成果指標イ	数値増＝成果向上	数値増＝成果向上	成果動向
	③ 今年度取組事項 (30年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容	今後の方向性	現状維持 ☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止	見直し ☐ 見直し ☐ その他()
			継続して実施			